

令和5年度 事業計画

I 共済会をとりまく情勢

令和4年度は、引き続き新型コロナ感染拡大による社会不安に加え、ロシアのウクライナ侵攻により引き起こされたエネルギー・食糧危機等の影響による燃料価格など諸物価の急激な高騰は、世界的な規模での社会経済基盤の混乱や動揺をもたらし、我が国においても国民生活の様々な分野に不安を投げかけている。

福祉職場に目を向けると、全国の特別養護老人ホーム等の約9割が前年度の収益率を大きく下回っている他、保育所の約7割は経営に不安を感じているという調査結果が出されるなど、新型コロナやロシアのウクライナ侵攻の影響によるところが大きいものと考えられる。

このような中、国は、少子高齢化の進展に伴いますます深刻化する社会経済情勢を踏まえ、福祉分野においては地方交付税措置を財源とする「福祉職場で働く職員の処遇改善」・「こども予算の倍増」等により、福祉職場の経営基盤強化や、健全な経営に向けた施策を進めることとしている。

本会においても、基幹事業である退職年金事業において、安定した資産運用により会員が安心できる給付体制を維持し、また福利事業においては、再構築した給付助成等の各種事業を安定的かつ速やかに提供し、これまで以上に会員と被共済職員に寄り添った事業を展開し、必要な支援活動に取り組んでいく。

II. 主要対応課題

1. 年金資産の政策アセットミックス（注1）の変更

ALM（注2）の結果、現行の資産運用を続ける場合、目標収益率（1.5%）の確保が出来ない可能性が高いことが判明したことを受け、資産の政策アセットミックスの見直しに関わる協議を資産運用委員会において慎重に進め、クレジットを中心に運用するオルタナティブ（注3）を新たに導入することで方向性を定めた。

今年度の上半期は、新たな政策アセットミックスの定時総会での承認と、可及的速やかな資産の移動手続きに注力する。

下半期以降は、目標収益率の確保に向け、中長期的な視点で新アセットミックスの収益性に関わるモニタリングを行う。

（注1） 中長期的に維持すべき基本的な資産の配分比率。

（注2） Asset Liability Management（資産債務管理）の略。債務（被共済職員に対する退職給付額）に応じて、最適な政策アセットミックス（維持すべき資産配分割合）を策定するプロセス。

（注3） 株式や債券等の伝統的な資産運用ではみられない多様な運用手法を用いたり、異なる資産市場へ投資を行うことをオルタナティブ投資と総称している。その中で「クレジット」とは、信用リスクのある債券（又は債権）への投資であり、信用リスクの高さに応じた高い利回りを享受することを狙う戦略のこと。本戦略を資産の一部に組み入れることで、資産運用における重要な要件である「分散効果」を高める効果が期待できる。

2. 「HKねっと」の機能拡充

昨年度まで、共済制度運営委員会を中心に、「HKねっと」（各種届出のオンラインシステム）の機能拡充に関し会員ニーズ調査等を実施するとともに、具体的な協議を進め、主に、退職年金事業に関わる諸帳票を「HKねっと」を有効活用し、電子的に会員に配布することを目標と定めた。本件の効果は、膨大な帳票類のペーパーレス化によるコスト削減に加え、重要な帳票類を電子的に保管・管理できるところにある。

今年度は、システムの改修作業を完了したうえで上半期での運用開始を目指す。

3. 余暇支援事業の定着化に向けた周知活動

昨年度は、福利厚生センターとの業務委託契約の変更等により「コロナ禍でも被共済職員が楽しく安心して利用できる事業」を目標に、本会独自で運営する事業として「余暇支援事業」を開始した。

給付事業においては介護休業給付金、育児休業給付金、手術見舞金等を追加し、助成事業では資格取得に関わる枠組みを再編したうえで、対象となる資格の追加を行った。

本年度は、事業の定着と利用拡大を目標に「3ヵ年計画」を立案の上で、積極的な周知活動を行う年度とする。

Ⅲ. 各事業の実施計画

1. 出資金・掛金の請求、収納

(1) 被共済職員の見込数

令和5年3月31日の被共済職員	45,846名
令和5年度中の加入者	5,160名
令和5年度中の退職者	5,281名
令和6年3月31日の被共済職員	45,725名

(2) 出資金・掛金の見込額

	平均本俸			平均在籍者数			
① 会員出資金	220,359円	×	38/1,000	×	45,900名	×	12ヶ月 = 4,612,200,000円
② 職員出資金	220,016円	×	16/1,000	×	44,496名	×	12ヶ月 = 1,879,660,000円
③ 掛金	220,359円	×	6/1,000	×	45,900名	×	12ヶ月 = 728,240,000円
④ 第2出資金	平均口数4.06口		4,100円	×	3,768名	×	12ヶ月 = 183,510,000円

※端数切捨